



11 月に実施した学校評価アンケートについて、生徒の皆さん (回答者数 219 人)、保護者の方々 (回答者数 143 人)、ご協力ありがとうございました。今年度の学校評価は、だいたいの評価が 4 点満点中 3 点以上をクリアしており、本校の教育活動にご理解をいただいていると考えます。結果は裏面に掲載してありますのでご覧ください。以下、いくつか抜粋をした項目について分析・検討を行いました。

まず、本年度、重点項目「確かな学力の育成」についてです。アンケート I (学校組織・職員の取組) に関する項目、「⑥多様な学習活動を工夫し、わかる授業の実践に努めている」「⑦生徒が活動する場面を設定した授業展開を行っている」という項目において、生徒はそれぞれ過去数年と比較をしても高い評価をしています。保護者、教職員からの評価については、ポイントダウンはしていないものの、今後も授業改善を続けるよう意識していく必要性が示唆される結果となりました。今後、生徒の実態把握と身に付けさせたい資質・能力について、学び方に着目をしてさらに改善を進めていきます。



次に、重点項目「豊かな人間性」についてです。教職員は「③基本的な生徒指導事項が明確にされ、職員の共通理解のもとに指導を行っている」「⑭問題行動の『早期発見・早期対応』に努め、予防的・積極的な生徒指導を行っている」「⑮問題が発生した際、『報告・連絡・相談』を適切に行い、校内の連携を確実にしている」が 0.3~0.5 ポイントアップしたように、指導体制を見直してきました。しかし、保護者の評価、教職員の評価共に「⑪生徒とできるだけ接するように努めている」「⑫生徒理解に努め、個々の良さを見出しながら指導に当たっている」という視点では昨年度より 0.1~0.2 ポイントダウンしています。また「⑳保護者との連携を十分にとるとともに、丁寧な対応を行っている」についても、教職員、保護者共にポイントダウンしている結果となりました。生徒が明るく前向きな姿勢で学校生活を送れるよう、生徒との関わり、保護者 (家庭) との連携を大切にしながら指導してまいります。

「健康・体力の保持増進」から、アンケート II (生徒の実態に関する項目) において、「②日頃から心身の健康に気を配ることができ、欠席や遅刻・早退が少ない」「⑪部活動に積極的に参加し、体力や技術の向上に前向きに取り組んでいる」について、生徒、保護者、教職員が 0.1~0.3 ポイントアップする結果となりました。心身の健康

は、明るく、前向きな姿勢で学校生活を送る基盤です。また、日頃の目標達成や今後の進路を考える際にも大切な事項です。生徒の健康のために、教職員が連携をとって指導してまいります。

これからも、全職員一丸となって教育活動をすすめていく所存です。今後どうぞ、よろしくお願いいたします。

